

第70回 医学教育セミナーとワークショップ in自治医科大学

2018年11月3日(土)～4日(日)

セミナー データから紐解く地域医療教育の課題

ML 講師：松本正俊（広島大学医学部地域医療システム学講座）

WS-1 地域医療教育と文化人類学

CD 企画：小谷和彦・渥美一弥・佐藤正章（自治医科大学）、錦織 宏（京都大学）、浮ヶ谷幸代（相模女子大学）、伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学）、飯田淳子（川崎医療福祉大学）、浜田明範（関西大学）、星野 晋（山口大学）、Jeni Harden（エジンバラ大学）

WS-2 次世代試験対応！動画・音声付臨床問題を作ろう

A 企画：岡崎仁昭・石川鎮清・松山 泰（自治医科大学）

WS-3 多職種連携教育のための謎解きゲーム活用

TL 企画：浅田義和（自治医科大学）、近藤慶太（亀田ファミリークリニック館山）、小林昭仁（北秋田市民病院）、門川俊明（慶應義塾大学）

WS-4 In-situ simulationのための模擬患者ワークショップ

ML 企画：山畑佳篤（京都府立医科大学）、宮道亮輔（医療法人あいハンディクリニック）、中村朋子（佐賀関病院）

WS-5 第14回 医学教育研究技法ワークショップ

R 「医療者教育の研究を立案してみよう」
企画：日本医学教育学会 教育研究・利益相反委員会

WS-6 診断推論力強化講座：攻めの「診断戦略」、守りの「診断エラー回避術」

TL 企画：山本 祐（自治医科大学）、志水太郎（獨協医科大学）、清水郁夫（信州大学）

WS-7 活用できる看護研修にするために

CD 教育企画をブラッシュアップしてみよう！
企画：八木街子・古島幸江・村上礼子（自治医科大学）

WS-8 XerteとLMSで簡単にできる！eラーニング教材の作成と運用

TL 企画：日本医学教育学会 学会広報・情報基盤委員会

11月3日(土)						
13:00-17:00	WS-1～	WS-2	WS-3		WS-4～	WS-5～
17:15-18:30	セミナー					
18:45-20:00	懇親会					
11月4日(日)						
9:00-13:00	～WS-1	WS-6	WS-7	WS-8	～WS-4	～WS-5

*記号（ **TL** 等）は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページをご覧ください。

第71回
岐阜

2019/1/25-26

第72回
岐阜

併催
第20回教務事務職員研修
2019/5/24-26

第73回
愛知学院

2019/8/9-10

第74回
国際医療福祉大

2019/10



2018
秋

セミナー データから紐解く地域医療教育の課題

ML

講師： 松本正俊（広島大学医学部地域医療システム学講座）

日時： 11月3日(土)17:15～18:30

概要： 地域医療教育には制度的側面と教育的側面があり、日本は諸外国に比べて前者に高いウェイトが置かれてきた。1970年代・80年代の一県一医大政策、1972年の自治医科大学創設、2009年から急速に増大している地域枠入学制度など、地域での医師確保のために創られた医学教育制度（政策）は多く、またその規模も諸外国に比して大きい。こういった制度について、その効果を測定するための実証研究も多く発表されてきた。一方教育的側面、すなわち教育コンテンツ（実習の在り方やカリキュラムなど）については、米家加などに比べて遅れている感否めず、また日本発の実証研究も少ない。本講演ではデータから垣間見える日本の地域医療教育の特徴と課題について論じる。

WS-1 地域医療教育と文化人類学

CD

企画： 小谷和彦・渥美一弥・佐藤正章（自治医科大学）、錦織 宏（京都大学）、浮ヶ谷幸代（相模女子大学）、伊藤泰信（北陸先端科学技術大学院大学）、飯田淳子（川崎医療福祉大学）、浜田明範（関西大学）、星野 晋（山口大学）、Jeni Harden（エジンバラ大学）

日時： 11月3日(土)13:00～17:00・4日(日)9:00～13:00（8時間）

概要： 平成28年度に改訂された医学教育モデル・コアカリキュラムに「医療に関係のある社会科学領域」が新しく記載されました。しかし、社会科学者の多くは臨床現場の文脈に、現場の臨床医は社会科学に未だ精通しておらず、臨床医と社会科学者の連携が課題とされています。このワークショップでは、医学部学生のもの見方や医療従事者が臨床現場で出会う苦悩などを題材に、医療者と人類学者が協働して行う「症例検討」や臨床実習における「エスノグラフィーの教育」の経験を共有し、「臨床と結びつけて医療人類学をどう教えればよいか？」について考えていきます。医学教育あるいは臨床現場に人類学的視点が入ることの意味を考える契機となることと思います。なお、この企画は主催者の研究活動の一環として行います。当日、研究参加への同意をお願いする予定ですのでご了承下さい。

対象： 文化人類学およびその教育に関心を持つ医療系学部教員・医療者

定員：30名

WS-2 次世代試験対応！動画・音声付臨床問題を作ろう

A

企画： 岡崎仁昭・石川鎮清・松山 泰（自治医科大学）

日時： 11月3日(土)13:00～17:00（4時間）

概要： 2015年の厚労省医師国家試験改善検討部会において、国試にコンピュータ制を導入し、現在の静止画像のみならず、動画や音声を活用した臨場感の高い臨床問題を出題する将来構想が議論されました。OSCEやMini-CEXなどの実技試験の充実化は望ましいですが、評価の信頼性を高めるためには課題数を増やす必要があり、評価者や（模擬）患者数の確保には限界があります。一方、動画や音声を活用した臨床問題は、実技試験で測定される能力をある程度まで評価でき、何よりも工夫次第で少ない人手で多くの問題が作れ、コストパフォーマンスは高いです。自治医大で動画・音声付臨床問題を総合試験に導入してから10年が経ちます。このワークショップでは本学で培ったノウハウをもとに、実際に参加者に動画・音声付臨床問題を作成してもらい、評価法としての有用性と「お手軽さ」を実感していただきたいと思います。

対象： 医歯薬・看護学の卒前・卒後教育で試験問題作成に携わっている方

定員：24名

WS-3 多職種連携教育のための謎解きゲーム活用

TL

企画： 浅田義和（自治医科大学）、近藤慶太（亀田ファミリークリニック館山）、小林昭仁（北秋田市民病院）、門川俊明（慶應義塾大学）

日時： 11月3日(土)13:00～17:00（4時間）

概要： 脱出ゲーム（Escape Room）というイベントをご存知でしょうか。

「閉じ込められた部屋から様々な謎を解いて脱出する」というWeb上のゲームから派生し、近年ではこれを現実世界で行うイベントが日本のみならず海外においても多数開催されています。また、「謎を解く」という課題に対して「チームで協力して」のぞむ必要があることから、主にチームビルディングやリーダーシップ教育との関連での活用もなされており、新人研修や学会ワークショップ等での導入も見られます。

今回はこの脱出ゲーム（謎解き）を用いた多職種連携教育への応用を検討いたします。実際に4名1組程度のチームとなって脱出ゲームを体験していただいた後、事例紹介等のプレゼンを踏まえて実際の教育応用へのディスカッションを行います。

「ゲーム」と「教育」という2つの全く違う要素の融合について、一緒に楽しみながら意見交換を進めていければ幸いです。

対象： ゲーム的要素を用いての教育・多職種連携教育に興味のある、医療系学生・教員および医療職

定員：30名

WS-4 In-situ simulationのための模擬患者ワークショップ

ML

企画： 山畑佳篤（京都府立医科大学）、宮道亮輔（医療法人あいハートクリニック）、中村朋子（佐賀関病院）

日時： 11月3日(土)13:00～17:00・4日(日)9:00～13:00（8時間）

概要： 臨床現場で行うシミュレーション＝In situ simulationの有用性がクローズアップされているが、人的資源・物的資源に制限があり、シミュレーションの準備・実行にハードルがあるのが現状である。本ワークショップでは、臨床のちょっとした空き時間に簡単にシミュレーションを行う方法として、指導医自らが模擬患者となり、模擬患者モニター（simulated patient monitor）を活用した、10 minutes work place simulationを検討したい。シナリオの題材として12年間の開催経験があり、モデルコアカリキュラムでも紹介されたT&A救急初療コースを用いる。より良い学習機会の提供のためのシミュレーションの構築について、参加者とのディスカッションを通じて深めたい。

対象： 医療機関や臨床研修病院で教員や教育担当をしている医師・看護師

定員：24名

WS-5 第14回 医学教育研究技法ワークショップ「医療者教育の研究を立案してみよう」

R

企画： 日本医学教育学会 教育研究・利益相反委員会

日時： 11月3日(土)13:00～17:00・4日(日)9:00～13:00 (8時間)

概要： 質の高い研究を行うためには、研究を始める前に、目的を明確にし、十分に準備し、適切な方法を選択することが不可欠です。本ワークショップでは、医学・医療者教育分野の研究を始めようとしている方を対象として、参加者の皆さんが抱えている・関心を持っている研究テーマについて研究計画をそれぞれ報告していただきます。その上で、目的の明確化、先行研究に基づきリサーチクエスチョンや仮説の設定、適切な研究方法の選択、倫理的配慮などに向けて、タスク・参加者と共に議論し、個々のニーズに合わせて研究計画をブラッシュアップすることを目標とします。

対象： 医療者教育研究を計画している方、関心のある方

定員：18名

WS-6 診断推論力強化講座：攻めの「診断戦略」、守りの「診断エラー回避術」

TL

企画： 山本 祐（自治医科大学）、志水太郎（獨協医科大学）、清水郁夫（信州大学）

日時： 11月4日(日)9:00～13:00 (4時間)

概要： 私たち医療者は、患者が有する健康問題を明らかにし、それを解決しようと常に考え続けています。この思考過程と内容は臨床推論と呼ばれており、とりわけ前半部分を診断推論と言います。患者と共に歩むための道標である「正しい診断」に適切・適切にたどり着くためには、この診断推論力を高めるトレーニングが必要になります。このワークショップでは、正しい診断に迅速かつ確実に到達するための攻めの方略である「診断戦略」と、診断への思考プロセスを誤らせる要因の分析と対策から成る守りの方略である「診断エラー回避術」という、診断推論の2本柱をテーマに掲げました。当日は診断戦略の考案や学習者特性に応じたその教育法、ならびに、診断エラー要因の分析と対処法を参加者の方々と考えていきたいと思っております。みなさん、診断推論力強化講座をぜひお楽しみください！

対象： 医歯薬・看護学の卒前・卒後教育に携わっている方

定員：24名

WS-7 活用できる看護研修にするために教育企画をブラッシュアップしてみよう！

CD

企画： 八木街子・古島幸江・村上礼子（自治医科大学）

日時： 11月4日(日)9:00～13:00 (4時間)

概要： 看護では卒前から卒後まで演習や研修など様々な学習の機会があります。しかし、学習の場を設計した場合に、一生懸命設計してもなかなか効果が得られないと感じることも少なくありません。このワークショップでは、2つの演習や研修を例に挙げ、その改善点を議論しながら、そこでの内容を参加者の皆様の研修に反映させていくことが狙いです。eラーニングやシミュレーションといったテクノロジーを用いる例を紹介するので、「導入をしているがうまくいかない」「今後導入を検討している」といった方の現状を共有しながら、より効果的で効率がよく魅力的な設計を一緒に考えていきましょう。

対象： 演習や研修を設計し、疑問を感じている方。

定員：15名

ワークショップでは看護の事例を取り扱いますが、どの医療専門職でも参加可能です。

WS-8 XerteとLMSで簡単にできる！eラーニング教材の作成と運用

TL

企画： 日本医学教育学会 学会広報・情報基盤委員会

日時： 11月4日(日)9:00～13:00 (4時間)

概要： 日本医学教育学会の学会広報・情報基盤委員会ではLMS（Learning Management System）としてMoodleを、eラーニングの教材作成サーバとしてXerte（ザーティ）を、それぞれ運営しております。また、第50回日本医学教育学会のパネルディスカッションでも議論した日本版MedEdPORTALの構築を目指したNetCommonsの運用についても検証しております。今回のワークショップでは特にMoodleやXerteに着目し、医学教育において活用可能な教材の作成・運用に関する体験の機会を提供いたします。また、将来的に日本版MedEdPORTALでの共有を視野に入れたディスカッションも行う予定です。

対象： eラーニング教材の開発や共有に興味のある教職員、学生。

定員：20名

日本医学教育学会会員に限ります。

LMSやXerteなどの利用経験は問いません。

インターネットにアクセスして教材を作成しますので、無線LANが利用可能なパソコン（ブラウザ環境：Edgeは不可）を持参していただく必要があります。

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2018年 10月 21日(日)

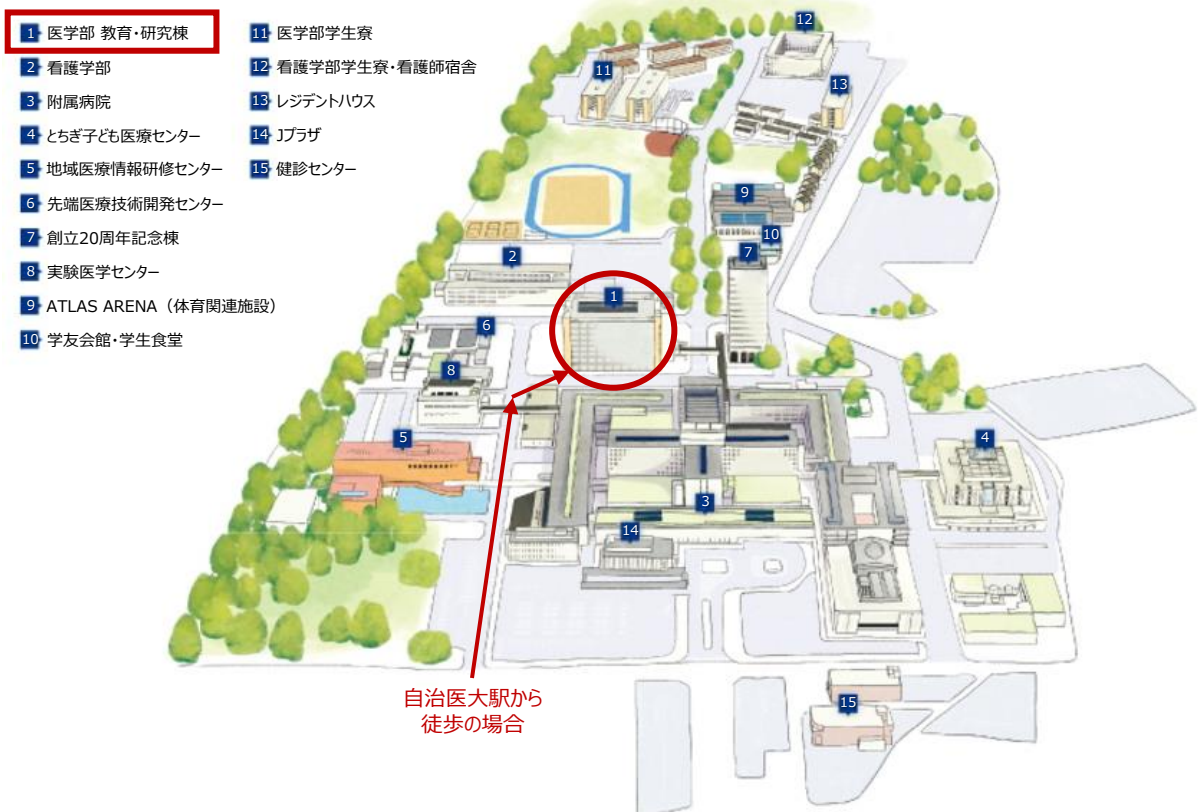
ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円 学部学生無料

懇親会費： 4,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。
参加費は、当日資料ならびに第70回医学教育セミナーとワークショップの報告が収録されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日、「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。
(学部学生への送付はありません)

会場： 自治医科大学 医学部 教育・研究棟
(〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1)



○JR宇都宮線「自治医大駅東口」下車、徒歩10分または東口バス停から「自治医大病院」行きバスで5分。
○東北新幹線を利用の場合は、「東京方面からは小山駅」、「東北方面からは宇都宮駅」で下車し、宇都宮線の普通電車に乗り換え。